

5 教育目標の達成のための基本方針

(1) 開かれた関北 ＊家庭・地域との連携を深め、子どもたちの夢を育む

開かれた学校とは、保護者・地域住民に対し、学校の教育活動に対する説明責任と結果責任を明確に果たすことのできる学校を指します。また、学校経営や学校運営に対して、保護者・地域住民等の参画を得ながら、よりよい改善を図っていくことのできる学校のこともあります。学習指導要領には、「社会に開かれた教育課程」を編成し、外部人材の力も活用しながら、子どもたちに多様な知識や経験を積ませることの必要性が示されています。そこで、子どもたちが自らの人生をより深く考え、よりよい生き方を探究しながら、その夢や希望を育むことのできる学校づくりを進めていくために、学校としての自己刷新、学校の教育情報の公開、透明性のある予算編成と執行、学校・地域間の人的交流等を基盤として、信頼される学校づくりに努めていきたいと考えています。

方針	中・長期目標	短期目標	具体的方策	評価規準	評価方法	評価主体
開 か れ た 関 北 家 庭 や 地 域 と の 連 携 を 深 め	社会に開かれた教育課程の編成及び学校評議員との連携強化	学校評議員への報告 ＊学校経営計画・教育課程・学校予算・施設改善 等 保護者アンケートの効果的な活用	・学校評議員一人につき、年間3回以上の協議の場の確保 ・学校関係者評価の実施 ・長期休業前の保護者アンケートの実施による課題発見と早期対応	年間3回の協議の場を確保することができたか。 保護者アンケートにより、学校の課題の早期発見・早期対応が進められたか。	実施回数及びその内容	学校評議員 保護者
	幼稚園や保育園との連携 小中一貫教育の推進 私立中・高、都立高校との連携	関中学校の実践グループ校としての児童生徒間・教員間の連携の充実	・ウインドアンサンブル部演奏会、生徒会説明会、海外派遣生徒報告会等の継続 ・関中生の職場体験の受け入れ継続 ・課題解決のための3校間での継続協議	これまでの関中との共催行事を継続するとともに、今後に向けた協議ができたか。	行事内容	教員・児童
		近隣幼稚園や保育園との交流	・低学年教員の幼稚園・保育園での研修 ・1年生と年長児の交流会の開催 等	教員相互の交流の機会を設定し、情報交換を密にできたか。	活動の実施状況	幼稚園・保育園職員
		石神井高校、東京女子学院との連携・交流	・スポーツテスト、校庭で遊ぶ会の実施 ・落成式に向けた交流	学びの場を深める取り組みが積み重ねられたか	活動の実施状況	相手校管理職
	保護者・地域社会との効果的な連携の促進	学校地域連携事業の活用	・学校支援コーディネーターの方々との協力関係を維持・継続していく。	学校支援コーディネーターとの連携が十分図れたか。	活動状況	保護者 地域住民
		各種ボランティアとの連携	・安全安心・図書・外国語・フラワーサークル等の方々との連携の充実	保護者による各種ボランティア活動が活発に行われたか。	保護者の協力度	保護者
		学校応援団「みどりの風ひろばスペシャル」への支援	・児童の「夢づくり」につながるその道の専門家の招聘及び運営面への協力	「みどりの風ひろばスペシャル」の充実に向けて支援できたか。	活動状況	保護者 地域住民

方針	中・長期目標	短期目標	具体的方策	評価規準	評価方法	評価主体
夢 や 希 望 を 育 む	教育活動や教育情報の定期的な公開及び広報活動の充実・強化	学校の教育情報の発信	・第2土曜日以外の学校公開〔年間2日〕の実施	年間2回の学校公開日が確実に行われたか。	実施回数	保護者 地域住民
	リスクマネジメントの機能を併用	広報活動の充実及び教育活動の理解啓発、リスクマネジメントの機能充実	・ホームページの更新〔学校日記・給食は毎日の更新を目標にする〕 ・学校だよりや各種通知の発行による啓発 ・緊急時の連絡ツールとしても活用	・ホームページの更新や各種通知が円滑に発行され、教育情報を効果的に伝えることができたか。 ・緊急時の連絡ツールとしても活用されたか。	更新や発行の質・量 アクセス数	保護者 地域住民
	児童がよりよい生き方を探究するための本校独自の「生き方教育」のカリキュラムの策定とその内容の充実	これまでの実践を再整理し、各教科領域の中での位置づけを明確にする。 職場体験の候補施設を発掘し、その実現につなげる。	・生き方教育につながる学習、外部講師による活動等を再整理し、キャリア教育の視点から、その位置づけを明確にする。 ・2年生の町探検、中学2年生の職場体験をつなげるための職場体験を実現する。 ・サクラソウプロジェクトを継続し、地域の施設に贈呈する。	「生き方教育」のカリキュラムが策定できたか。 地域の協力のもと、「職場体験」の実践が実現できたか。 サクラソウプロジェクトを通して、地域との絆が深まったか。	カリキュラム策定状況 職場体験の実現状況 サクラソウの贈呈状況	教員 地域住民
	校舎等全面改築に向けた新校舎等の建設	新校舎の安全な建設工事の推進 仮設校舎内での安全な生活の実現	・新校舎建築中にこそできる教育活動の企画立案をする。 ・関係機関、設計担当業者との効果的な連携を図る。	新校舎建設中にできる教育活動を企画できたか。 新校舎建設にかかる近隣住民や保護者の理解を得られたか。 実施設計の詳細がよりよい内容に作りあげられていったか。	住民、保護者等の理解や協力姿勢	近隣住民 保護者等
	学校予算及び学校納付金の適正な手続きと執行	口座引き落とし業務の確実な推進〔アズカルク〕	・給食費、教材費等の学校納付金の処理を確実に実行し、会計事故を防止する。	口座引き落としの事務処理を円滑、かつ適正に行えたか。	担当者の遂行状況	教員 保護者